

【展覧会概要】

展覧会名:浅田政志 だれかのベストアルバム

会 期:2022年2月19日(土)~5月8日(日)

開館時間:10:00~18:00 (入場は17:30まで)

会 場:水戸芸術館現代美術ギャラリー

休館日:月曜日 ※ただし3月21日(月・祝)は開館、3月22日(火)休館

入場料:一般900円、団体(20名以上)700円

高校生以下 / 70歳以上、障害者手帳などをお持ちの方と付き添いの方1名は無料

※学生証、年齢のわかる身分証明書が必要です。詳しくはお問合せください。

◎一年間有効フリーパス 「年間パス」2,000円

◎学生とシニアのための特別割引デー「First Friday」

→ 学生証をお持ちの方と 65 歳~ 69 歳の方は、毎月第一金曜日 (3月4日、4月1日、5月6日) 100円

主 催:公益財団法人水戸市芸術振興財団

協 力:キヤノンマーケティングジャパン株式会社、株式会社ケンコープロフェショナルイメージング、 サントリーホールディングス株式会社

企 画: 竹久侑(水戸芸術館現代美術センター芸術監督)

【概要】

本展は、「家族」と「記念写真」をテーマに活動する写真家・浅田政志による作品を、制作の原 点から最新作まで、本人の言葉とともに辿る最大規模の個展です。

2008 年発表の『浅田家』以来、浅田は自身の家族を被写体に、自らも一緒に様々なシチューエーションを演じるセットアップ写真の手法で、時とともに変わる家族の様子を取り込みながら、作品制作を続けています。また、被写体として公募した家族と、撮影自体が「記念」となる作品も制作してきました。さらに、東日本大震災では津波に流された写真を洗浄するボランティア活動に携わり、その経験からアルバムを作り、そして残すことの大切さを伝える活動を行っています。

本展では浅田の全シリーズに加え、最新作『私の家族』茨城版を発表し、震災後 10 年を迎えた岩手県野田村の写真返却活動の今を追跡します。『私の家族』では、参加者を被写体かつ共同制作者として迎え、その人にとっての家族の記憶や思いに焦点をあて、浅田による写真と参加者による文章で家族の物語を表現します。

新型コロナウイルス感染症による制約のもと、私たちはこれまでになく「家族」と向き合うことになりました。また、ここ近年頻度が高まる自然災害は、かけがえのない「思い出をいかに残すか」という問いを、私たちに突き付けているといえます。浅田が写し出す多様な家族像を通して、誰かの、そして、あなたにとってのベストアルバムに想いを馳せてみませんか。

【浅田政志プロフィール】

写真家。1979年三重県生まれ。家族写真集『浅田家』(赤々舎刊)で第34回木村伊兵衛写真賞を受賞。日本各地の市井の人々を撮影するアートプロジェクトや写真の啓蒙活動に精力的に取り組んでいる。主な展覧会として、『Tsu Family Land 浅田政志写真展』(2010年、三重県立美術館/個展)、『八戸レビュウ』(2011年、八戸市ポータルミュージアムはっち)、『記念日をつくる記念写真』(2011年、ミュゼふくおかカメラ館/個展)、『LOVE 展』(2013年、森美術館)、『拡張するファッション展』(2014年、水戸芸術館、丸亀市立猪熊弦一郎現代美術館)、『ほぼ家族。』(2016年、入江泰吉記念奈良市写真美



術館 / 個展)、『浅田政志写真展 Family Photo Tree』(2020 年、金津創作の森美術館 / 個展)、『浅田撮影局』(2020 年、PARCO MUSEUM TOKYO / 個展)、『私の家族』(2020 年、阪急うめだギャラリー | 2021 年、三菱地所アルティアム / 個展)。主な著書に『浅田家』、『NEW LIFE』(赤々舎)、『家族新聞』(幻冬舎刊)、『八戸レビュウ』(美術出版社)、『卒業写真の宿題』(赤々舎)、『アルバムのチカラ』(赤々舎)、『浅田撮影局 まんねん』(青幻舎)、『浅田撮影局 せんねん』(赤々舎)。著書『浅田家』と『アルバムのチカラ』を原案とした映画『浅田家!』が 2020 年に公開された。

【見どころ】

○ 浅田政志の全シリーズを総覧する浅田政志史上最大規模の個展本展では、代表作『浅田家』(2003-2008)のほか、『NEW LIFE』(2008-2010)、『浅田家全国版』(2011-)、『みんな家族』(2007-2019)、『アルバムのチカラ』(2011-2021)、『せんねん』(2020)、『まんねん』(2020)、『一点』(2020)、『私の家族』(2021-)を展示します。さらに、浅田から家族への O&A も加え、家族の関わりから浅田政志の活動を紐解きます。

○ 少年時代のエピソードに始まり、浅田本人の言葉が展覧会をナビゲート 浅田の作家活動のもととなった少年時代のある夏の出来事を始め、浅田の文章を通して、 家族とともに制作してきた作品をユーモアたっぷりに紹介します。また、全国各地の様々 な家族と共同で制作した記念写真についても、その背景にあるコンセプトを語ります。

○ 茨城県在住の 5 組の家族と最新作『私の家族』茨城版を撮り下ろし、本展で初公開。

最新作シリーズ『私の家族』は、家族がそろってカメラに向かう家族写真ではなく、ある一人の視点から捉えられた家族観を、浅田による複数の写真と参加者による文章によって表すものです。本シリーズでは参加者は被写体であるだけでなく、自分の家族にまつわる記憶や思いを浅田とともに表現する共同制作者として迎えられます。撮影者と被写体の関係をより相互的なものへ更新する『私の家族』シリーズを一挙に展示します。

○ 写真の「残し方」について考えるきっかけとなった東日本大震災後の写真 返却活動を追跡。

大震災後、岩手県野田村で、浅田は津波による瓦礫の中から救い出された写真を洗浄し、 持ち主に返却する活動に出会いました。その活動を通して、大切な人の記憶が像となっ た写真のかけがえのなさを痛感した浅田は、写真を「残す」ことについて改めて考え、 アルバムを作ることを推奨するようになります。本展では野田村の写真返却活動の今を 追跡して紹介するとともに、実際に当館で実施した写真を残すワークショップ「私の一枚」 の参加者による作品を同展会場で展示します。

○ 来場者が自由に撮影できる撮影スポットを設置。 明治初期の写真館にあった定番の撮影小道具 (カウチや花瓶など) を、アーティストユニット magmaが現代風にアレンジし、浅田政志展だけの撮影スタジオとして来場者を迎えます。

【関連プログラム】

1. アーティストトーク

日時:2月19日(土)①11:00~12:00/②14:00~15:00(開場30分前)

会場:水戸芸術館会議場

出演:浅田政志

定員:各回40名 ※要予約/先着順/受付開始1月25日(火)

参加費:無料 ※展覧会入場券が必要です。

2. 休館日特別企画 浅田政志が撮る展示風景写真のモデル大募集!

本展の記録写真を、モデルを入れて浅田ディレクションによるセットアップ写真として撮影します」

日時:2月21日(月) ①10:30~12:00/②14:00~15:30

会場:水戸芸術館現代美術ギャラリー

定員:各回10名 ※抽選制/申込受付1月5日(水)~1月31日(月)

参加費/モデル料:無償 ※本展記録集プレゼント

※撮影した写真は本展記録集に掲載され、また当館の活動として印刷物やインターネットで公開されます。

3. 浅田政志と生前遺影を撮りませう。

最高のポートレイトがあれば悩みがひとつ消え、あとは人生を謳歌するのみ!ご自身らしい装いで。バストアップの肖像です。プチ・ヘアメイク付。

日時:5月4日(水・祝) 9:30~16:30 一人あたり準備込み1時間

 $19:30 \sim 10:30 / 210:00 \sim 11:00 / 310:30 \sim 11:30 /$

4)11:00 ~ 12:00 / (5)11:30 ~ 12:30 / (6)13:30 ~ 14:30 /

 $714:00 \sim 15:00 / 814:30 \sim 15:30 / 915:00 \sim 16:00 /$

 $\bigcirc 1015:30 \sim 16:30$

会場:水戸芸術館現代美術ギャラリー ワークショップ室など

対象: 40 歳以上 定員: 10 名

※浅田政志が選考します/申込受付3月1日(火)~3月31日(木)

参加費:6,000円(台紙・データ付各1点)

※展覧会入場券が必要です。



『せんねん』 (2020)

4. 浅田政志が2022年お子さんベストポートレイトを狙います!

一番お気に入りの服で大切なものと一緒にひとりで撮るよ。おうちの 人は応援してね。

日時:5月5日(木・祝)10:00~16:00 一人あたり30分

 $110:00 \sim 10:30 / 210:30 \sim 11:00 / 311:00 \sim 11:30 /$

 $411:30 \sim 12:00 / (5)13:00 \sim 13:30 / (6)13:30 \sim 14:00 /$

714:00 ~ 14:30 / 814:30 ~ 15:00 / 915:00 ~ 15:30 /

 $(10)15:30 \sim 16:00$

会場:水戸芸術館現代美術ギャラリー ワークショップ室

対象:5歳~小学6年生

定員:10名 ※抽選制/申込受付3月1日(火)~3月31日(木)

参加費:3,000円(台紙・データ付各1点)

※同伴する保護者は展覧会入場券が必要です。

『まんねん』(2020)

5. サイン会

ご購入いただいた本展覧会記録集に浅田がサインします!

日時:5月8日(日)13:30~15:30

会場:水戸芸術館内

定員:100名 ※要予約/先着順/受付開始4月1日(金)

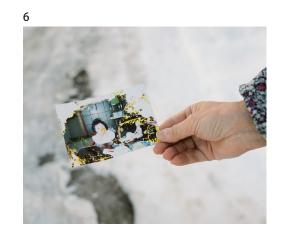
参加費:無料 ※展覧会入場券が必要です。

【図 版】 展覧会広報用にデータを貸し出しますので、ご要望の方は鳥居までお問合せください。









- 1. 『卒業制作』(2000-2001)より、2. 《浅田家/消防士》(2006)、3. 《浅田家全国版/兵庫県》(2021)
- 4.《私の家族/横川彩》(2021)より、5.《私の家族/外之内加奈》(2021)より、6.『アルバムのチカラ』(2011-2021)より

【同時開催】

■ クリテリオム98 西澤諭志

若手作家と当館学芸員が共同企画する展覧会シリーズ。

西澤諭志は、カメラを用いて個人の身近な生活を記録し、そこに浸食し写り込む社会的、経済的な側面へと意識を向けた写真作品や映像作品を制作してきました。2018年からは、日常的な風景に遺された記念的造形物(モニュメント)に眼を向け、第二次世界大戦の遺構や展示・観光施設、復興後の被災地等のモチーフにも取り組んでいます。

今展では、これまでの主題に加え、日常に溶け込んだ行動変容や眼に見えない制約が垣間見える2019年以降の風景の記録を再編集し発表します。

会期:2022年2月19日(土)~5月8日(日)

会場:現代美術ギャラリー第9室

主催:公益財団法人水戸市芸術振興財団協賛:有限会社アジアシステムサービス

企画:後藤桜子(水戸芸術館現代美術センター学芸員)

※クリテリオムは、ラテン語で「基準」を意味し、若手作家の新作を中心に紹介する企画展です。

※料金は展覧会入場料に含まれます。





「[普通]ふれあい・復興・発揚」より、エコパーク水俣A、2019





「[普通]ふれあい・復興・発揚」より、島原市平成町島原復興アリーナ/雲仙岳災害記念館、2019

■ 教育プログラム

詳細が決まり次第、当館ホームページでご案内します。

プレス向け内覧会のお知らせ

2022年2月18日(金) 14:00~15:30 受付開始13:30

場 所:水戸芸術館現代美術ギャラリー

出席者:浅田政志(写真家)

竹久侑(水戸芸術館現代美術センター芸術監督)

【お問合せ】

水戸芸術館現代美術センター

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8 Tel.029-227-8120/Fax.029-227-8130 https://www.arttowermito.or.jp/展覧会について:竹久侑(芸術監督)

教育プログラムについて:森山純子(教育プログラムコーディネーター)

広報・写真貸出について:鳥居加織(広報) e-mail:cacpr@arttowermito.or.jp *詳細は公式ツイッター http://twitter.com/MITOGEI_Gallery でも配信いたします。

【記事掲載についてのお願い】

- 1) 掲載にあたっては、正式展覧会名称と会期の表記をおこなってください。
- 2) 写真を掲載する場合は、写真に添付してあるキャプション・クレジット等を正確に表記してください。
- 3) 誌面掲載する電話番号は、水戸芸術館代表番号029-227-8111でお願いいたします。
- 4) 掲載記事とVTRは、資料として保管いたしますので水戸芸術館現代美術センター鳥居までご送付ください。
- 5) 取材及び収録等の取材は、必ず事前にお問い合わせください。都合により取材に応じることのできない場合がでいます。

【交通のご案内】

- [JR] 東京駅(品川、上野発もあり)から常磐線特急で約72分~84分、水戸駅下車。駅北口バスターミナル4~7番のりばから「泉町一丁目」下車。降車後バスの進行方向に進み、すぐの交差点で大通り(国道50号)を渡り、脇道をまっすぐにお進みください。徒歩2分。
 - ◎料金:特急片道 3,890 円/普通各停片道 2,310 円(2021 年 12 月現在)
 - ※ご予約・時刻表など詳しくはこちらをご参照ください。JR 東日本旅客鉄道 Tel.029-221-2836 http://www.jreast.co.jp/
- [高速バス] 東京駅八重洲南口バスターミナルのりばから高速バス「みと号」(赤塚又は茨大ルート)で約 100 分、「泉町一丁目」下車、徒歩 2 分。切符は東京駅八重洲南口バス券売機、水戸駅北口バスチケット売場でお求めください。
 - ◎ 料金: 東京駅 水戸駅 片道切符 2,120 円。ツインチケット(2 枚綴り回数乗車券 4,000 円)。(2021 年 12 月現在)
 - ※ 詳しくはこちらをご参照ください。 茨城交通 Tel.029-251-2331 http://www.ibako.co.jp/
- [お車] 常磐自動車道水戸 IC から国道 50 号に下りて市街地方面に約 20 分お進みください。国道 349 号との交差点「南町 3 丁目」で左折(左手にみずほ銀行があります)、「2 つ目の信号」を左折してください。そこから信号 1 つ過ぎた左側が水戸芸術館地下の市営五軒町駐車場の出入り口です。
 - ◎ 駐車場料金:30分まで無料、1時間まで200円、以降30分毎100円/営業時間:7:00~23:00 ※高速料金・ルートなど詳しくはこちらをご参照ください。
 - 東日本高速道路「ドラぷら」 Tel.0570-024-024 http://www.driveplaza.com/